

デュアルフューエル機関ラインナップ化完了ならびに姫路工場生産能力増強について

当社は、さらなる環境負荷低減のため、液体燃料とガス燃料双方を切り替えて運転可能なデュアルフューエル機関を開発し、製品化を進めてまいりました。また、エンジンの大型化や多様化するニーズへ対応するため、2018年8月姫路工場の操業を開始させ、守山工場と姫路工場、それぞれの利点を活かした生産体制を構築し、生産性の向上を図ってまいりました。

このたび、GHG排出削減に対する海事産業の要請を受け、DE20DF、DE23DF、DE28DF、DE35DFのデュアルフューエル機関4機種のリナナップ化を完了しました。

型式	単位	6DE20DF	6DE23DF	6DE28DF	6DE35DF	8DE35DF
最大出力	kWm	890	1,200	1,730	3,060	4,080

既に、6DE28DF 機関が日本郵船殿向けの大型自動車運搬船「SAKURA LEADER」、川崎汽船殿向けの大型自動車運搬船「CENTURY HIGHWAY GREEN」に搭載され、順調に稼働しております。

また、今後の需要拡大に対応するため、デュアルフューエル機関の生産能力増強を目的として、姫路工場の運転設備増設を決定いたしました。

現在、デュアルフューエル機関のうち、DE28DF は自動車運搬船向け、DE35DF はメガコンテナ船向け、DE23DF および DE20DF はバルクキャリア向けに、併せて約 100 台を受注いたしました。

当社グループは、地球環境保全を重要な経営課題のひとつとして捉え、商品開発から調達・生産・販売・物流・アフターサービスなど、全ての事業活動における環境負荷低減を推進しております。

また、社会の一員たる企業の責任として、取引先や事業パートナーと連携し、環境負荷ゼロという大きな目標に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります

以上



引用元:日本郵船株式会社 ホームページ

【お問い合わせ先】

営業統括本部 船用事業部 前田
 TEL:06-6454-2393
 管理統括本部 総務部 中尾
 TEL:06-6454-2331